

インプラントバッシングにどう対応するか



講師 矢島安朝 先生

略歴

- 1980年 東京歯科大学卒業
- 1985年 東京歯科大学大学院歯学総合研究科(口腔科学専攻)
- 2005年 東京歯科大学千葉病院口腔インプラント科科長
- 2007年 東京歯科大学千葉病院口腔インプラント科教授
- 2009年 東京歯科大学口腔インプラント学講座主任教授
東京歯科大学口腔インプラント学講座教授

平成25年11月23日土曜日

10:00~12:30

場所 歯学部5階第一講義室

参加費 3000円

お支払いは当日現金で頂きます。

インプラント治療は、欠損補綴の一手段としての地位を確立し、長期間に及ぶ維持、安定性が広く認められています。しかし、インプラント治療に関する様々なトラブルが急増し、歯科における医療紛争の主役になっており、多くの誤解に対応する必要があるのが現状です。

その誤解とは大きく3つにわけて『患者側の誤解』『歯科医師の誤解』『社会の誤解』であると考えます。

この原因としては、インプラントがリハビリテーションであり、一生使える第二の永久歯ではないことに対する誤認が挙げられます。

また、マスメディアの影響でインプラント治療の事故の多発や危険性が誇張されているのも原因のひとつで、患者さんとの信頼関係を構築する際、大きな問題となっています。

これらの誤解をどう解消し、患者・歯科医師双方にとって安全なインプラント治療を行っていくかを先生方と一緒に考察できることを期待しています。

お申込み方法

事前申し込み お申込用紙にご記入後、FAXにてお送りください。
当日会場にてのお申し込みも受け付けます。

お問い合わせ・お申込み先

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔インプラント学分野 青木ユリ

FAX:095-819-7689 E-mail: bb55313201@cc.nagasaki-u.ac.jp

主催:長崎大学歯学部同窓会

長崎大学歯学部同窓会 PGC 参加申し込み書

お名前の横の枠に、以下のアルファベットをお書きください。

- A:長崎大学歯学部同窓会会員 B:九州5大学歯学部同窓会会員 C:歯科医師一般
D:研修医・修練医・大学院 E:歯科衛生士 F:学部学生

例:お名前 歯科太郎

A

医院名・勤務先

お名前

ご住所 〒

電話番号

FAX

E-mail